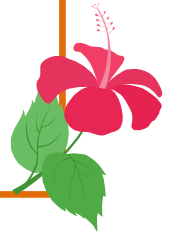


# ～キャリアの軌跡～

第17号  
2010年10月26日  
長崎大学病院  
医師育成キャリア支援室 発行



【写真左から】

TAKASHI MIYAMOTO  
宮本 俊之

AYAKO SHIBUYA  
渋谷 亜矢子

CHIKAKO TSUJI  
辻 史子

RENA OSAWA  
大澤 令奈

KYOKO MIYAZAKI  
宮崎 恭子

MAIKO JOYA  
城谷 麻衣子

## 2010 ハワイ短期研修報告！ 2010.9.13～9.17 School of Medicine University of Hawaii



YUSUKE NAKAYAMA  
中山 裕介

HIROKAZU TANIGUCHI  
谷口 寛和

JUN TAKEUCHI  
竹内 潤

SHINICHI ABE  
阿部 伸一

SHO FUKUSHIMA  
福嶋 翔

研修1日目 2010.9.13

日本語での講義



英語での講義



急患初期対応のシミュレーションを  
立て続けに3回！！



夜のミーティング



研修初日。ほぼ全員が緊張の中、講義が始まった。1コマ目の講義は日本語（ホッ( ^\_^ )）で、質問も飛び交いちょっとリラックス。だけど、2コマ目からは英語！早口英語の聞き取りに精一杯になる部分もあったが、宮本隊長の通訳のおかげでなんとか乗り切れた！午後からは、救急現場でのシミュレーションを立て続けに3例（喘息・心室性頻拍・心不全）。講師と受講者の距離が非常に近く、ひとりひとりの顔色・反応をみながらレッスンが続くため、「こんな質問してもいいのかな？」なんて考えることなく質問ができた。

本日の格言 「Read textbook, See one(or more), simulation training, Do one(or more), Teach one」

研修2日目 2010.9.14

【今日の目標】1人2回は質問するぞ！

Safety Movement の講義



お昼休み  
明日の長崎の医療を担うぞよ！と決意

トリアージのシミュレーション

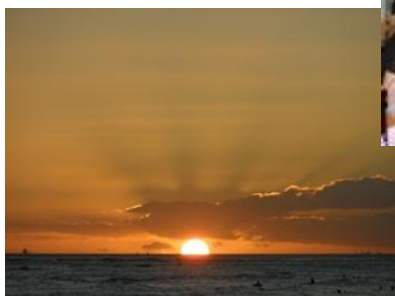


Top of Wikiki にて夕食



講師に少しゆっくり話してもらうことで、英語が聞き取りやすくなり、隊長の通訳も昨日より減った(\*^\_^\*) Safety Movement の講義では、ミスが起こる最大の原因は「コミュニケーション不足」と言われており、チームトレーニングの重要性を再認識した。それをふまえて午後からは、トリアージのシミュレーション実習へ突入！ERとトリアージの違いが明確になった。とにかく講師の雰囲気作り、受講者のモチベーションの引き出し方はすごい！実習というより、実践に近かったため、それぞれが感じた具体的な疑問などをその場で講師に質問したり、ディスカッションすることができた。 本日の格言 「A "Team of Experts" isn' t the same as an "Expert team"」

研修中の息抜き特集！



裏面へ続く...



HEY!





**研修3日目 2010.9.15**



Queen's Medical Center  
の救急外来を見学



Triplane Army Hospital でグアムと  
の遠隔医療を行う telesystem を見学



輪状甲状腺切開実習



挿管実習



Magic of Polynesia  
マジックショーの前  
振りでエルビスが登場！

早朝7:15に出発にもかかわらず全員遅刻せずに集合し、ハワイで最も大きく、且つ唯一の救命救急センターである Queen's Medical center と、軍専用の Tripler Medical Center を見学に行った。どちらの病院もスタッフが多く、仕事が完全に細分化されているため、患者数が多くても待たせることなく、スムーズに治療まで移っていけるようにシステム化されていた。午後からは、気道確保の実習！シナリオでのシミュレーションで、モニターや硬性鏡、キングチューブと呼ばれる挿管チューブを用いた手技や、輪状甲状腺切開などを、実際に患者さんが目の前にいるような感覚で真剣に行った。 **本日の格言** 「There is great difference between to know something and to know nothing.」

**研修4日目 2010.9.16**



今日は、one night on call (模擬当直)！  
入院中の患者さんが急変！  
シナリオ終了後に、積極的にディスカッションし、  
質問攻め。あっというまにお昼になりました。



腹腔鏡・気管支鏡等のトレ  
ーニングを受けました！

←大きなスクリーン  
にも映し出されま  
す！！



↑タンタラスの丘  
帰ってからの定例ミーテ  
ィングは、議論が白熱し、  
昨日・今日と気づけばナン  
ト3時間以上(°o°)！

昨夜の白熱したミーティングで話し合ったとおり、全員がコミュニケーションを取りあい、アグレッシブな研修になった。午前中は、one night on call という研修で、入院中の患者さんが急変して、研修医が病棟に呼び出されるというシナリオを4つ。シナリオ終了後、問題点を挙げて、積極的に質問・ディスカッションすることで、内容を再確認できた。午後からは、LapVR などのシミュレーターを使った腹腔鏡や気管支鏡等の実習。導入が上手なので、ゲーム感覚で楽しくトレーニングできた。「受身な態度が全くないのを見ていて気持ちいいというか、日本人だからちょっとは遠慮を・・・と言いたくなるほど、受講者全員が完全に別人に変身した！」と宮本隊長のお言葉。しかも、今日はほとんど通訳が要らない状況だったらしい！

**本日の格言** 「I hear and I forget, I see and I remember, I do and I understand.」

**研修5日目 2010.9.17**

最終日の今日は、チームトレーニング！  
講義後に、救急時のシミュレーションを行い、その後みんなでビデオ  
チェック。行動が全て記録され、それによって採点されました。

佐賀大学出身で、ハワイ大学で内科研修中のタキ先生の  
講演を聞きました。質問の嵐でした！



Dr. Berg より、一人ひとりに  
卒業証書が授与されました



この木なんの木・日立の樹  
樹齢約 120 年のモンキーポ  
ットの木の下で、記念撮影

研修最終日。午前中、これまでのコースのまとめとも言える Medical Crisis Team Training を行った。ここで最も重要なことは、医療はチーム医療だが、必ずしも常に同じチームではないということ。今回は、病棟で急変した患者を治療する際に、誰がリーダーで、誰が何の役割をするかを分担し、的確に治療していくトレーニングだった。全て行動が録画されており、とった行動に対して採点がされる。何が良くて何が駄目だったのか、一目瞭然でわかり、コミュニケーションの重要性、トレーニングの必要性を再確認できた。午後からは、現在ハワイ大学でレジデントをされている日本人のタキ先生から、日本とアメリカの研修制度や教育システムの違いなどを聞くことができた。アメリカのスタイルをそのまま日本で導入するのは難しいと思うが、良いところは取り入れて今後につなげられればと思った。 **今回の旅の格言** 「To Teach is To Learn.」

**～ハワイ研修者 T&T より～**

研修中は英語力を気にせずとにかく発言・質問し協力！夜のミーティングは意見を出し合い情報・意識を共有！  
皆最後まで集中力を切らさず素晴らしい研修ができました。自分は「チーム長崎」の一員なのだと実感できました。  
私自身昨年の今頃は1年後アメリカで研修できるなど想像もしていませんでした。研修医時代に世界最先端に触れたことは一生の財産です。研修先を悩んでいる学生の皆さん、長崎大学から世界へ羽ばたきましょう！

今回ハワイ研修に参加させていただき本当によかったと思います。ハワイ大学の医学教育は日本のものとは一味違っていました。常に患者さんの姿をイメージしながら知識を身につけさせ、すぐに実際の現場で使えるように教育するといった具合でしょうか。出発前は「1週間で何がわかるのかな」という気持ちもありましたが、ハワイでの1週間で今まで見えていなかったものがたくさん見えてきました。この貴重な経験をこれからの研修生活に生かせるように頑張っていきます！

今回は、ハワイ短期研修の一部をご紹介します！  
詳しい報告書は、後日作成予定です！！  
お楽しみに v(≧▽≦)v

長崎大学病院 医師育成キャリア支援室  
TEL:095-819-7847 FAX:095-819-7882  
MAIL: career@ml.nagasaki-u.ac.jp  
HP: http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/career/  
「長崎大学 キャリア支援室」でも検索できます。  
BLOG: http://careerngs.exblog.jp/